

<基本目標> : 心身ともに 元気でいきいきと暮らし 健康寿命をのばそう

<基本方針> :

- 1)食育を通じた健康づくり(食育推進計画) 2)生活習慣病予防のための健康づくり(健康増進計画) 3)こころの健康づくり(自死対策計画)

<令和3年度の新規事業等>

1) 食育を通じた健康づくり

- ①境産水産物(クロマグロ・ギンザケ)を活用した給食提供・・・境港総合技術高校生が捌いた魚を10/18 マグロの日、11/11 サケの日に給食提供
- ②小中学生へかんたん朝食レシピの配布・・・ポリ袋でできるかんたん朝食レシピを配布
- ③魚食普及事業「魚のさかな捌き教室」・・・魚の捌き方を学ぶ(3回コース)。3回全て参加された人には、「境のさかな捌き達人」の認定証交付
- ④境港の健康食レシピの募集・・・健康まつりにおいて、境港の自慢食材を使った健康食レシピを募集し、展示
- ⑤食生活改善推進員養成講座の工夫・・・若い世代が参加しやすいよう託児を実施、新型コロナ対策を講じた調理実習の工夫

2) 生活習慣病予防のための健康づくり

○運動習慣

- ①運動習慣を身につけるきっかけづくり・・・「夕日ヶ丘ラン&ウォーキングMAP」の作成、配布

○疾病予防について

- ①新型コロナワクチン接種・・・5月～実施中(接種状況別紙参照)
- ②インフルエンザ助成の拡充・・・高齢者と小児に加え、妊婦と障がい者にも助成を拡充。
- ③特定健診受診勧奨の強化・・・未受診者の特徴を分析し、タイプ別の勧奨はがきを郵送
- ④がん患者への支援・・・がん患者へウィッグや補正下着の費用を助成
- ⑤フレイル予防・・・「みんなで一緒にフレイル予防大作戦」と題した、フレイル予防のDVDを作成予定

3) こころの健康づくり

○孤立し、育児を抱え込まないよう個々の①産後ケア事業の利用促進・・・デイサービスの事業所を追加

こころに寄り添う支援を充実

- ②ハイハイ期親子応援事業・・・8か月から1歳までの親子を対象に、助産師、保健師、栄養士が電話や訪問等で個々の状況に応じた育児支援を行う
- ③未就園児全戸訪問事業・・・就園、健診への参加がなく、市が状況を把握できていない幼児の把握と育児支援を行う。

○コロナ禍の悩み・不安への対応

- ①普及啓発・・・コロナワクチン接種者へのチラシ配布
- ②生活困窮者への支援・・・自立相談支援、学習支援、住宅確保給付金

<今後の課題・検討事項>

- 1) 生活習慣病のリスクである喫煙対策
- 2) コロナ禍における「新しい生活様式」に合わせた健康づくり活動方法、啓発方法の工夫
- 3) 成人期に対する取り組み
- 4) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
- 5) PHR拡大に対する対応

<分野毎の進捗状況>

☆ライフステージ毎に、現在の取り組み状況を整理

【妊娠期】 【乳幼児期】 【学齢期】 【成人期】 【高齢期】 に分けて記載